

IDHS、児童養護施設を支援するため3億ドルの増資を発表

今月の初め、J.B.プリツカー州知事とイリノイ州福祉局（IDHS）グレイス・ハウ長官は、全州の資格を満たす児童養護施設に対し、3億ドルの助成金を新たに給付することを発表しました。この助成金では、児童養護施設の1クラスにつき年間約25,000ドル、グループホームに年間約15,000ドル、託児所に年間約10,000ドルの支援を提供します。職員の採用と定着を促進するため、資金の50%以上は、給与および福利厚生の実施を目的として、新規人材および労働力に関する施策に充てられる必要があります。

新たな助成金申請の締切は1月初旬で、給付は2022年2月から2023年1月の予定です。

公平を期すため、恵まれないコミュニティへの支援実績のあるプログラムに提供します。本助成金は、賃金等の運営費増加をカバーするために費用の予測可能な施設を支援します。

また、当州では、4500万ドルを投入して児童保育復旧助成金を6ヶ月間延長することにより、これまでの支援プログラムを拡大し、今回の助成金給付対象とならない施設にも最善の支援を行います。

新たな給付金と児童保育復旧助成金延長に関する申請情報は、[イリノイ州チャイルドケアリソース&紹介機関ネットワーク \(INCCRRA\)](#) を介して施設に提供される予定です。

助成金の機会

IDHSでは、年間を通じて多くの資金調達機会のお知らせ（NOFO）を発行しています。資金調達の機会については、[IDHSの助成金の機会のページ](#)に一覧が掲載されています。

イリノイ州のフロントラインワーカーのための共済組織



フロントラインでの業務に従事する方々は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおいて、未曾有のストレスに直面しています。

Advocates for Human Potentialが主催する無料の相互援助グループに参加すると、体験を共有したり、サポートを受けたり、リソースを入手したりすることができます。グループの会合は毎週火曜日正午12時に実施され、[こちらのZoomリンク](#)からアクセスできます。

新たな永久支援住宅資金獲得機会の通知

IDHSの薬物使用防止・回復課（SUPR）が永久支援住宅（PSH）を対象とした資金獲得機会の通知（NOFO）を発表しました。今回のNOFOでは、人種や民族、性別、郵便番号、身体能力を問わず、IDHSがあらゆる人の暮らしを守る福祉サービスのビジョンを強化するものです。

物質使用障害（SUD）または重複物質使用、メンタルヘルス障害（COD）を抱える患者向けにPSHを提供することを想定しています。本プログラムで優先する対象は、青少年、女性、子供を持つ女性ですが、全ての申請が考慮されます。給付金に申請する組織は、治療や回復サービスについて条件や期待を設けることなく住宅を斡旋する「住宅第一」のアプローチに従うことが求められます。

詳細および申請については、[永久支援住宅NOFOページ](#)をご覧ください。

小売6社がSNAPのオンライン食料品プログラムに新たに参加

IDHSは、イリノイ州においてオンラインのSNAP購入サービスを提供する小売会社が新たに6社加わったことをご報告いたします。新たに承認された小売会社は、Capri IGA、County Market、FairPlay Neighborhood Market、Schnucks、Supermercados El Guero、Woodman's Marketの6社です。上記の新たに加わった小売会社は、イリノイ州で合計83店舗を運営しています。

これにより、イリノイ州の住民の方々は、SNAP受給世帯向けのオンラインの選択肢を合計で9つ利用いただけるようになりました。ALDI、Amazon、およびWalmartもイリノイ州でオンライン注文を受け付けています。

SNAPをオンラインで利用するには、
www.capriiga.com,
mycountymarket.com/shop/online-grocery-shopping/,
fairplayfoods.com,
shop.supermercadoselguero.com/,
shopwoodmans.com,
shop.aldi.us,
Amazon.com/SNAP、または
Grocery.Walmart.com のいずれかを選択し、画面の指示に従ってください。

イリノイ州のLinkカードをお持ちのSNAP受給者全員が、このサービスを利用できます。SNAPへの登録や詳細情報については、
dhs.state.il.us をご覧ください。

このプログラムに興味をお持ちの小売業者様は、
<http://www.fns.usda.gov/snap/online-purchasing-pilot> で詳細を確認し、申請を行うことができます。




新型コロナウイルス感染症による著しい被害を受けたコミュニティのサポートに向けた危機介入カウンセリングプログラム

IDHSは、クック郡、ウィネベゴ郡、セントクレア郡において新型コロナウイルス感染症による多大な影響を受けた個人を対象にコミュニティベースの危機介入カウンセリングを提供する試験的プログラムとして、「[Illinois-Strong](https://illinois-strong.org)」を立ち上げました。このプログラムは、コロナ禍のサバイバー（生存者）が自身の反応を理解し、その境遇の改善へ向けた支援となりうる個人や組織とつながりを持てるようサポートを提供することを、主な目的としています。個人の危機対応カウンセリングを行うスタッフメンバーは、積極的に耳をかたむけ、安心感を与える言葉をかけ、実用的な支援と感情的支援を提供するとともに、ストレスに対処するための行動的テクニックも指導してくれます。

Illinois-Strongは、個別およびグループでの相互交流を通じて特定された個人に対し、コロナ禍に関連する救済サービスを提供します。本プログラムの詳細情報については、illinois-strong.org をご覧ください。

IDHSのSNS

IDHSでは情報交換の場を設けています。もしよろしければ、IDHSのSNSをフォローしてください。それぞれのサイトでIDHSとつながり、当局からの最新情報をご覧になれます。IDHSの各アカウントへのリンクはこちらです。

 [Twitter](#)、 [Facebook](#)、 [YouTube](#)、 [LinkedIn](#)